

災害から身を守るために知っておくべきこと

1 災害に備えて知っておくべきこと(風水害・土砂災害)

避難に関する情報

住民の皆さんが災害発生危険度を直感的に理解し、的確に避難行動ができるようにするため、避難に関する情報や防災気象情報等の防災情報を5段階の「警戒レベル」を用いてお伝えしています。なお、令和3年出水期から避難勧告が無くなるなど、行動を促す情報等が変更となりました。警戒レベルと、それに対応する避難情報・避難行動などを確認しておき、避難情報の発令時には迅速に行動しましょう。

警戒レベル	状況	住民が取るべき行動	行動を促す情報
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保 ※1
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示 (注)
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ※2	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではない
 ※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングである
 (注) 避難指示は、従前の避難勧告のタイミングで発令する

2 防災マップの使い方

災害時にパニックに陥らないためには、日頃から地域の災害特性や避難場所等を知っておくことが大切です。別添の「防災マップ」を確認しておきましょう。

① 防災マップの見方を学びましょう



洪水
洪水時の浸水の深さを色で示しています。



土砂災害
土砂災害の危険がある箇所および警戒(避難)すべき範囲を示しています。



防災関係施設
指定避難場所や地区の緊急退避所、消火栓の位置など、災害時に役立つ施設を示しています。

② 家の周辺を確認しましょう

- 家の場所に印をつける
- 周辺にどんな危険があるかチェック
- 周辺の避難場所などをチェック

③ 実際に歩いて避難してみよう

実際に避難所まで歩いてみて、危険箇所や避難経路を確認してみましょう。



3 住宅の耐震化のすすめ

Step.0 地震が起きたらどうなるの?

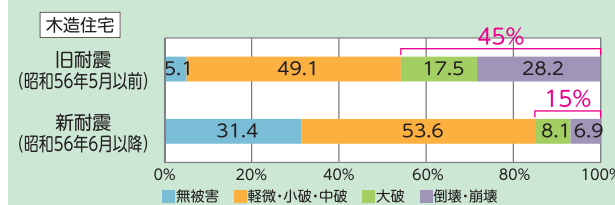
震度6弱以上の地震が起きると、立つことが困難になり、外へ避難することが難しくなります。耐震性のない建物は倒壊や瓦の落下といった被害を受けたりします。



Step.1 地震が起きた時に危ない家ってどんな家?

昭和56年(1981年)5月31日以前の建物は古い基準(旧耐震基準)による旧耐震建築物と呼ばれ、地震に弱い建築物の可能性があります。熊本地震でも多くの旧耐震建築物が倒壊等の被害を受けました。特に震源に近い益城町中心部では約半数もの旧耐震建築物が大破・倒壊・崩壊の被害を受けています。旧耐震建築物の耐震性は耐震診断をすることで分かります。まずは耐震診断をしてみましょう。

熊本地震における益城町中心部の被害状況 (日本建築学会調査より)



Step.2 住宅を耐震化しよう

地震に弱い建築物でも、耐震化により新耐震基準で建てられた住宅と同じくらいの強さに補強することができます。耐震化は、以下の3つの流れで進めます。

- ①現況診断…住宅の地震に対する強さを建築の専門家が診断します。
- ②補強計画…耐震診断の結果、補強が必要な場合は補強方法などを住宅所有者と建築の専門家が一緒に検討します。
- ③耐震改修…補強計画に基づいて、柱や壁や基礎などを補強する耐震改修工事を行います。



診断や補強を行う際に補助金が支給されます!

早島町建設農林課 (TEL 086-482-0614) まで問い合わせください。

災害から身を守るために知っておくべきこと

4 防災情報を入手しよう

防災情報の 入手方法

災害時には、いち早く正確な情報を得ることが重要

テレビ(ケーブルテレビ)、ラジオ(コミュニティFM)、防災行政無線、緊急速報メール、
ツイッター等のSNS、広報車等による広報に加え、
次のような情報源がありますので、積極的に活用しましょう。

テレビから入手

デジタルデータ放送(リモコンの「d」ボタンを押す)からも、リアルタイムで情報を入手することができます。(発信情報:気象情報、河川水位や潮位などの観測情報、避難情報、土砂災害危険度情報など)・放送事業者 NHK岡山放送局



パソコンから入手

岡山県総合防災情報システム おかやま防災ポータル

県内の気象情報(注意報・警報、気象レーダー等)、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

- 検索サイト 検索 「おかやま防災ポータル」を選択
- URLを入力 <http://www.bousai.pref.okayama.jp/bousai/>



岡山県防災マップ

洪水、土砂災害、地震による危険度情報や市町村のハザードマップ一覧を掲載しています。

- URLを入力 <http://www.gis.pref.okayama.jp/bousai/>

携帯電話・スマートフォンから入手

岡山県総合防災情報システム おかやま防災ポータル

県内の気象情報(注意報・警報、気象レーダー等)、雨量情報、土砂災害危険度情報、河川水位情報、河川カメラ情報等をリアルタイムで確認することができます。

- 検索サイト 検索 「おかやま防災ポータル」を選択
- URLを入力 <https://www.bousai.pref.okayama.jp/>

次のQRコードを読み取っても接続できます。→



おかやま防災情報メール

登録いただいた方のスマートフォンや携帯電話に、
県内の気象情報などの情報をメールでお送りするサービスです。



早島町のサービス

早島町メールマガジン(防災メール)

火災情報や気象警報発令時などの災害対策本部設置状況などを配信します。

パソコン <http://www.ikkr.jp/hayashima>

スマートフォン ※右のQRコードからアクセスし、空メールを送信してください。



スマートフォン向け公共情報アプリ (はやしまナビ)

早島町メールマガジンで配信している防災情報等を
プッシュ通知でお知らせするサービスです。

Android
の場合



iOS(iPhone、iPad)
の場合



早島町防災放送アプリ(コスモキャスト)

このアプリをインストールし、町内の郵便番号を登録することで、雨音などで屋外スピーカーの音声が聞こえにくい場所でも、戸別受信機のようにお手持ちのスマートフォンからリアルタイムに防災行政無線の音声が流れてきます(毎日17時の定時放送(チャイム)は流れません。)

また、マナーモード設定時には音声は流れませんが、後から聞き直すことができます。

なお、スマートフォンをお持ちでない方は、早島町メールマガジン(防災メール)をご利用ください。

(1)インストール方法

①コスモキャストアプリを検索

端末がAndroidの場合はGoogle Playから、
iOS(iPhone、iPad)の場合はApp Storeから、
「Cosmo Cast」又は「コスモキャスト」と検索して、
アプリ「Cosmo Cast」をインストールします。
右のQRコードを読み取る方法でも、インストール
できます。

Android
の場合



iOS(iPhone、iPad)
の場合



②アクセスの許可

インストールの途中で、アクセス許可を求める画面が出てくるので、全て許可してください。

③郵便番号を登録

早島町内の郵便番号を入力し、「検索」を押すと自動で住所が表示されます。「登録」を押して完了です。

(2)注意事項

- ・スマートフォンの電源を入れていないときは、情報を受信できません。
- ・アプリの利用料は無料ですが、通信料は利用者負担となります。
- ・郵便番号は、早島町内の番号を登録してください。
- ・フィーチャーフォン(ガラケー)は、ご利用いただけません。
- ・受信中にアプリを終了するなどした場合は、音声録音されないことがあります。